**企画提案書作成要領**

企画提案書は，仕様書及び【別紙1】鹿嶋市公式ホームページ及びCMS等機能要件一覧表の内容を踏まえ，記載事項に従い作成すること。専門知識がない審査委員が評価するため，できるだけ平易な表現で（専門用語を使用する際には，注釈をつけること。）分かりやすく具体的に作成すること。

また，仕様書や以下に示していない内容でも，本市にとって有益になると思われるものについては，積極的に提案すること。

**１.企画提案書等の記載上の留意事項**

1. 企画提案書は「２.企画提案書の構成」に基づく章立てとすること。
2. 様式は原則としてA4判長辺綴じ，両面カラー印刷とし，文書は横書きとする。また，A3判の挿入も可とする。なお，A4判及びA3判共に1ページ換算とする。
3. 企画提案書の本文は，50ページ以内（表紙，裏表紙，目次等は除く。）にまとめ，各ページには，一連のページ番号を記載すること。
4. 提案内容はすべて本市提案上限額内で実現可能なものとし，根拠も含めできる限り具体的であること。なお，業務委託契約後に提案内容が実現できなくなった場合は，提案内容以外の方法で実現することとし，その費用は提案者が負担すること。

**２.企画提案書の構成**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | 会社概要，サイト構築及びCMS導入実績 | 会社概要，公共団体実績について，以下の点を踏まえて記述すること。①会社概要，経営状況，（ある場合のみ）協力会社の概要②提案内容と同様または類似の過去５年間の業務実績③（ある場合のみ）広報コンクールの入選実績 |
| 2 | 構築期間中のサポート体制 | 本業務を円滑に進めるためのサポート体制について具体的に提示すること。①プロジェクト管理等，事業全体のサポート体制 |
| 3 | 本業務に対する取り組み方針 | 本業務の受託に関する基本的な考え方及び具体的な取り組み方針について，本市ホームページの現状を踏まえた上で記述する。①基本的な考え方，事業への理解②現在のホームページの問題点と課題③具体的な取り組み方針 |
| 4 | デザイン・サイト構成（ア）～（ウ）について，スマートフォン版とPC版それぞれ記載すること | ホームページの再構築に対する提案を，現状の課題を元にして記述する。また，別紙【観光情報サイト作成方針】，【東京2020オリンピック特設サイト作成方針】を参考に，本市ホームページサブサイトとして本事業内で構築する（イ）鹿嶋市観光情報サイト（ウ）オリンピック特設サイトについての提案も行うこと。（ア）市公式ホームページ①サイト構成・構造②トップページデザイン（スマホ版，PC版について1案ずつ提示すること。）③検索性・ユーザビリティの向上のための考え方・具体的な実現方法④各情報への閲覧者の誘導方法⑤緊急情報との連携方法⑥多言語対応（観光情報サイト・オリンピック特設サイトも含む。）⑦SEO対策（観光情報サイト・オリンピック特設サイトも含む。）　市にとって最適と思われるSEOを向上させるための手法やノウハウを提案すること。（イ）観光情報サイト①サイト構成・構造②トップページデザイン（スマホ版，PC版について1案ずつ提示すること。）※PC版のサイトデザインイメージを本市で作成した（別紙　観光情報サイトベースデザイン（PC用））。このデザインを基にスマホ版・PC版について提案すること。ただし，ベースデザインそのままの場合は評価対象外とする。③ページを訪れた利用者の目を留め，興味をもってもらうための工夫（ウ）オリンピック特設サイト①サイト構成・構造②トップページデザイン（スマホ版，PC版について1案ずつ提示すること。）③開催期間などに情報を素早く周知するための仕組み |
| 5 | アクセシビリティの確保・向上 | アクセシビリティの対応にあたり，本市職員の負荷がなく構築し，保持することができるかについて記述する。①対応実績　等級A,等級AAへの対応実績についてそれぞれ記載②アクセシビリティに関する取り組み方針③アクセシビリティを確保・向上するための実現方法 |
| ６ | CMSの機能概要 | 以下の内容について記述すること。①CMSのコンセプト，基本機能②スマートフォン版及びPC版コンテンツの作成・編集方法③アクセシビリティチェックの機能性④ページの管理方法⑤組織改正や人事異動に伴う各種管理機能⑥拡張性・バージョンアップなどへの考え方⑦特徴的な機能（独自機能） |
| ７ | データ移行 | 以下の内容について記述すること。①職員のシステムへの習熟及び移行費用の削減を考慮し，コンテンツの移行について最適な方法を提示すること（【仕様書4.2.4 移行の実施】に留意すること）。②移行作業における各担当課へのサポート体制を提示すること。③移行期間中に発生する差分ファイルも含め既存コンテンツの具体的な移行方法等について提示すること。 |
| ８ | 職員研修 | 職員のシステムへの習熟に重点を置いた操作研修の体制及び実施方法について提示すること。 |
| ９ | システムの性能 | 以下の内容について記述すること。①サービスを提供するデータセンター②システムの安定性③セキュリティの確保 |
| 10 | 運用・保守方法※ | 以下の内容について記述すること。①障害発生時の対応方法②災害発生時の対応方法③運用支援④保守内容（データバックアップ体制等） |
| 11 | 構築スケジュール | 構築スケジュールについて記載すること。①工程名称，工程期間，作業内容，職員研修，テスト期間等②各工程での事業者と本市の役割分担等 |
| 12 | 新たなコンテンツの作成 | 仕様書「３．４コンテンツ作成」に示す新たなコンテンツについて，それぞれの機能概要及び具体的な実現方法を提示すること。①FAQページ②イベントカレンダー③その他市の魅力をPRするコンテンツ |
| 13 | 追加提案 | 本市が要求している以外に，有効な機能があれば自由に提案すること。ただし，提案できるものは今回の事業費の範囲内のものに限り，その費用と実現方法を提示すること。 |

※運用保守について，平成32年度以降の運用・保守については，本契約の範囲には含まない（別途業務委託予定）。ただし，企画提案書は当該保守業務を担った場合を想定して記載すること。

**３.特に提案を求める事項**

**(1)情報に即座にたどり着くことができるサイトの構築**

「高齢者」「視覚に障害を持つ人」「行政の仕組み・制度への理解が低い人」のアクセシビリティ向上を前提とし，探している情報に誰でも即座にたどり着くことができるサイトを構築するための基本的な考え方を提示すること。

また，近年利用者の使用端末がパソコンからスマートフォンへと急速に移り変わってきている状況に鑑み，スマートフォンサイトの構成やデザイン，閲覧者の記事の見やすさ，求める情報の探しやすさを特に重要視している。スマートフォン利用者の視点に立ったサイトの構築について具体的に提案し，提案根拠も提示すること（スマートフォン版とPC版の両方についての具体的な提案をすること）。

また，サイト内検索の充実や効果的な活用について，基本的な考え方及び具体的な取り組み方針について提示すること。

**（２）市民に対しては【故郷を誇りに思い愛着を感じることができるサイト】，市外で当サイトに訪れた人（特にインバウンドを含む若い世代を想定）に対しては【鹿嶋市らしさ（鹿島神宮の武神の様な人々の本物の覚悟，サッカー観戦や初詣，お祭り等によるまちの賑わい）を届けることができるサイト】とするためのサイトデザイン・構成**

アクセシビリティに配慮しながら，自治体サイトの画一的なデザインから脱却した「鹿嶋市らしい」サイトを構築し，本市の魅力・特色を市内外へ効果的に発信するための提案を行うこと。

市外の観光客（特にインバウンドを含む若い世代を想定）をメインターゲットとする観光情報サブサイトについては，サイト作成方針を別紙【鹿嶋市 観光情報サイト作成方針】に，またPC用デザインのベースを【鹿嶋市 観光情報サイトベースデザイン（PC用）】に示す。

**（３）新たなコンテンツの作成・追加提案**

本市の魅力をPRするコンテンツ構築やホームページへの追加提案のターゲット，期待できる効果，具体的な実現方法について，専門知識がない審査委員にもわかりやすく記載すること。